

令和6年度千葉県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 演習課題

市 町 村 名	
サービス（支援）の種類	
事業所名	
氏 名	

※市町村名の欄について、千葉県以外の方は市町村名の後に（県名）も記入してください。

**以下の事項について、事業所での取り組みを振り返り（過去1年程度）、記載してください。演習当日はコピーを8部（ホチキス留めをして）持参してください。**

このシートは、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（以下、サビ管・児発管）に求められている役割について、自らが現時点でどのように遂行しているかを振り返り、どうすればさらに質の高い取り組みができるかを確認するためのものです。ありのままに自分の考えや認識を記入してください。なお、0～10の各段階は自己検証用の段階（目安）ですので、考えすぎずに直感的につけてください。

※現在、サビ管・児発管ではない場合は、直近に従事していた際を振り返って記入するか、自事業所のサビ管・児発管業務を想定して記入してください。

**【事前課題1】サビ管・児発管としての自己検証**

**① 「アセスメント・個別支援計画・モニタリングについて」**

個別支援計画の作成は、サビ管・児発管にとって重要な業務です。また利用者や環境の変化に対応した計画の変更も重要です。そのために必要な「アセスメント」～「計画作成」～「モニタリング」～「計画変更」は行われていますか？ またそれらは事業所内で周知され十分に活用されていますか？

←できていない													できている→
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか（維持しますか）？

## ② 「意思決定支援」について

サービスを提供するにあたり、利用者の自己決定の尊重は守られていますか？ また利用者が自ら意思を決定することに困難を抱える場合には、適切に利用者の意思決定支援（本人の意思の確認や意思及び選好の推定、最後の手段としての最善の利益の検討のために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組み）は提供されていますか？

←できていない											できている→	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか（維持しますか）？

## ③ 「個別支援会議」について

利用者の状態や環境の変化等に応じてサビ管・児発管自らが個別支援会議を開催していますか？ その会議には利用者本人が参加することで、当該利用者のサービス利用や生活に対する意向等を確認出来ていますか？

←できていない											できている→	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか（維持しますか）？

#### ④ 「助言・指導や人材育成」について

人材育成の視点を常に持ち、未熟さやサポートが必要な職員に対するOJTやコーチングはサビ管・児発管の重要な責務です。ご自身はそれを適切に行えていますか？ また事業所・法人で職員の育成のための研修等の取り組みを行っていますか？

←できていない					できている→					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか(維持しますか)？

**【事前課題1まとめ】** サビ管・児発管としての自己検証を終えて、得られた気づきを記入してください。  
(演習時に発表していただきます)

## 【事前課題2】事業所としての自己検証

### ⑤ 「職員間の情報伝達（記録・会議・コミュニケーション）」について

個々の利用者の状況に沿ったサービスを提供するため、個別支援計画に限らず支援手順（マニュアル）や日々の支援記録などの各種記録は整備され、担当する職員が閲覧できるようになっていますか？ また職員間では前日からの引継ぎや利用者の状態の共有、疑問点や課題などを確認し合える処遇検討や各種会議などは定例で行われていますか？ 加えて職員同士は日ごろから口に出しやすい関係性であるなど、良好なチームとなっていますか？

←できていない												できている→
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか（維持しますか）？

### ⑥ 「虐待防止・身体拘束の適正化」について

サビ管・児発管は業務全体を把握し虐待の芽を摘む役割が求められます。職員の不適切な言動を修正するなど日頃からの行動は出来ていますか？ また義務化された虐待防止・身体拘束の適正化の取り組みについて事業所・法人として行っていますか？

- ・虐待防止委員会を定期的を開催し、その結果について従業者に周知徹底を図ること。
- ・従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施すること。
- ・上記措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

←できていない												できている→
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか（維持しますか）？

### ⑦ 「多様なニーズへの対応」について

(所属する事業種別や主たる対象の設定にもよりますが) 行動障害、医療的ケア、重複障害、利用者の成長、地域移行や一人暮らしの希望、就労の希望、高齢化と親亡き後、個々の障害特性に合わせたサービスの提供など、多様化する利用者のニーズに対して、そのニーズの掘り起こしと対応、事業所職員のスキルアップなどに取り組んでいますか？(例示したニーズ全てではなく、例えば新しく出現した一つのニーズに事業所として取り組んでいるかという解釈で構いません。)

←できていない						できている→					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか(維持しますか)？

**【事前課題2まとめ】** 事業所としての自己検証を終えて、得られた気づきを記入してください。

(演習時に発表していただきます)

### 【事前課題3】関係機関との連携についての自己検証

#### ⑧ 「相談支援専門員との連携」について

利用者の希望する生活を実現していくためには、相談支援専門員との連携は特に重要です。すべての利用者についてそれぞれの相談支援専門員との連携は図れていますか？ また個別支援計画を、担当する指定特定相談支援事業所にも交付していますか？

←できていない					できている→					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか(維持しますか)？

#### ⑨ 「関係機関との連携」について

利用者の生活は単一のサービスで構成されているわけではありません、必要に応じ他のサービス事業所や関係機関(企業・学校・医療機関・専門的な関係機関等)との連携が重要な業務です。また事業所が所在する地域や住民等との連携も意識的に行う必要があります(グループホームには地域連携推進会議が次年度から義務化)。日頃よりこれらの連携を行えていますか？

←できていない					できている→					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

1. どのような理由で点数(0～10点)をつけましたか？ 実践している工夫はありますか？

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか(維持しますか)？

⑩ 「自立支援協議会」について

各自治体(や圏域等)に設置されている(自立支援)協議会で取り上げている議題や地域の課題を把握していますか? また(自立支援)協議会の分野別作業部会や研修会などに、自身や事業所の職員が出席して学びや連携に努めていますか?

←できていない											できている→	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		

1. どのような理由で点数(0~10点)をつけましたか? 実践している工夫はありますか?

2. 現在の点数から今後、あなたはどのようにして10点に近づけますか(維持しますか)?

**【事前課題3まとめ】** 関係機関との連携の自己検証を終えて、得られた気づきを記入してください。

(演習時に発表していただきます)